

第 48 回関西財界セミナー 開催概要

1. 期 日 2010 年 2 月 4 日 (木) ～5 日 (金)
2. 場 所 国立京都国際会館
3. 主 催 (社)関西経済連合会、(社)関西経済同友会
4. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(財)関西生産性本部、(社)京都経済同友会、(社)神戸経済同友会
5. メインテーマ 「関西が時代を拓く ～機に臨み、変に応ずる～」

6. スケジュール

(敬称略)

2月4日(木)

◇全体会議 [9:30～12:25]

(1)開会挨拶

中野 健二郎 (社)関西経済同友会 代表幹事

(2)主催者問題提起

下妻 博 (社)関西経済連合会 会長

(3)パネル・ディスカッション

山中 諄 (社)関西経済同友会 代表幹事 [議長]

嘉田 由紀子 滋賀県知事

高野 孟 (株)インサイダー 代表取締役兼編集長

水越 浩士 神戸商工会議所 会頭、(株)神戸製鋼所 相談役

(4) 関西財界セミナー賞 2010 授与式

◇昼 食 [12:30～13:30]

◇分科会討議 [13:30～18:00、2月5日(金) 9:00～12:30に続く]

(1) 環境先進地域・関西

2009 年 12 月に開催された C O P 15 の結果を受け、わが国を含む世界の温室効果ガス削減に向け、政府、産業界がどう対応していくべきか、また、その中で関西は「環境先進地域」をいかに実現し、国内外へ発信していくかについて議論する。

<セッション構成>

① C O P 15 を踏まえた日本の対応

② 「環境先進地域・関西」の今後のあり方

③ 世界に貢献する関西の環境技術・ノウハウ

～環境ビジネスの国際展開～

議長：藤 洋作 関西電力(株) 相談役

大坪 清 レンゴー(株) 社長

意見発表者：

澤 昭 裕 21世紀政策研究所 研究主幹
大 鶴 英 嗣 パナソニック(株) 顧問
町 田 勝 彦 シャープ(株) 会長兼CEO
竹 山 修 身 堺市長
波多野 琢磨 東洋エンジニアリング(株) 副社長
黒 田 篤 郎 (独)国際協力機構(JICA) 理事

(2) アジア・太平洋地域の安定・発展に向けた日本の外交力

新政権の外交・安全保障政策、対外経済協力、通商政策などを整理した上で、東アジアをはじめとするアジア・太平洋地域の安定・発展に向けて、日本のとるべき外交政策、果たすべき役割について議論する。

<セッション構成>

- ①日本の外交・安全保障政策のあり方
- ②現政権の外交・安全保障政策の課題と今後
- ③2010年APEC：議長国・日本の役割

議長：岡 野 幸 義 ダイキン工業(株) 社長兼COO
藤 野 達 夫 伊藤忠商事(株) 常務執行役員

意見発表者：

川 上 高 司 拓殖大学海外事情研究所 副所長・教授
田 中 克 彦 山九(株) 関西エリア 参与
中 西 寛 京都大学大学院 法学研究科 教授
宮 崎 政 久 沖縄経済同友会 基地・安全保障委員会 委員長、
宮崎法律事務所 代表弁護士
相 原 元八郎 APEC ビジネス諮問委員会(ABAC) 日本委員、
三井物産(株) 顧問
白 石 隆 内閣府総合科学技術会議 常勤議員、
日本貿易振興機構アジア経済研究所 所長、
政策研究大学院大学 客員教授

(3) 新しい政治のあり方

国民のための政治主導の統治体制を掲げる新政権は、新たな国家戦略の策定、内閣の下に一元化された政策の実行、政・官の役割の再構築に向けて、本当に歩んでいるか。さらに、地域主権確立を掲げる新政権が取り組む分権改革の現状や、立場が明らかでない広域行政に対する考え方を検証する。その上で、関西広域連合や新しい地方政治の実現など関西からの行動を議論する。

<セッション構成>

- ①政権交代後のわが国の統治能力は高まったか
～新政権発足後150日を検証する～
- ②地域主権国家における地方政治のあり方

③新政権の広域行政ビジョンを問う

～広域連合をステップに道州制を実現できるか～

議長：更 家 悠 介 サラヤ(株) 社長

村 上 仁 志 住友信託銀行(株) 特別顧問

意見発表者：

平 岡 龍 人 学校法人清風明育社 理事長

樽 床 伸 二 衆議院議員、民主党大阪府総支部連合会代表

待 鳥 聡 史 京都大学大学院 法学研究科 教授

増 田 寛 也 元総務大臣、(株)野村総合研究所 顧問

朝 倉 秀 実 大阪府議会 議長

林 宜 嗣 関西学院大学 経済学部 教授

篠 崎 由 紀 子 (株)都市生活研究所 代表取締役

(4) 地域戦略としてのインフラ整備のあり方

新政権の下における社会資本・都市基盤整備の課題を整理し、問題意識を共有した上で、関西の空港、港湾、道路、鉄道などの交通・物流ネットワーク整備のあり方を議論する。加えて、文化観光振興の観点から、インフラを活用した魅力あるまちづくりについて、その地域戦略を議論する。

<セッション構成>

①新政権下のインフラ整備の課題

②地域の競争力強化を主眼とした交通・物流ネットワークの整備

③文化観光振興と連携した魅力あるまちづくり

議長：上 村 多 恵 子 京南倉庫(株) 社長

田 中 宰 阪神高速道路(株) 会長

意見発表者：

黒 田 勝 彦 神戸大学 名誉教授、
神戸市立工業高等専門学校 校長

岡 本 三 成 ゴールドマン・サックス証券(株)
投資銀行部門資本市場本部マネージング・ディレクター

福 島 伸 一 関西国際空港(株) 社長

小 河 保 之 大阪府 副知事

横 川 浩 大阪ガス(株) 副社長執行役員

橋 爪 紳 也 大阪府立大学 21世紀科学研究機構 教授、
大阪府立大学 観光産業戦略研究所長、
大阪府 特別顧問

(5) 経済政策のあり方と関西の産業成長戦略

新政権が掲げる経済運営について評価し、今後とるべき経済政策、とりわけ成長戦略は何かを議論する。さらに、関西で実施されてきた産業振興策を評価・総括し、関西の産業成長戦略はどうあるべきかを議論する。

<セッション構成>

①現政権の経済運営と改革のあり方

②日本の成長戦略

③関西の産業成長戦略はどうあるべきか

議長：筑紫 勝 磨 サントリーホールディングス(株) 常務執行役員関西担当

大竹 伸 一 西日本電信電話(株) 社長

意見発表者：

樫 浩 一 (株)ニッセイ基礎研究所 経済調査部長

久保田 勇 夫 (株)西日本シティ銀行 頭取

手代木 功 塩野義製薬(株) 社長

森 修 一 住友商事(株) 専務執行役員関西ブロック長

今 仲 行 一 オムロン(株) 執行役員常務技術本部長

村 沢 義 久 東京大学 サステナビリティ学連携研究機構特任教授

(6) 企業の経営戦略

世界経済危機の直撃を受けた企業は未だ業績回復の途上であり、将来への成長力強化策を模索している。そこで、各企業の危機突破策、競争力強化を実現する経営改革、グローバル戦略、特に新興国市場開拓、中長期的な経営戦略について議論し、加えて企業経営に影響する企業税制、国際会計基準などについても議論する。

<セッション構成>

①経済危機下の経営戦略

②中期的な成長に向けた経営戦略（企業成長を制約する諸課題）

③アジア市場の対ボリュームゾーン戦略

議長：小 椋 昭 夫 バンドー化学(株) 会長

長 島 徹 帝人(株) 会長

意見発表者：

奥 正 之 (株)三井住友銀行 頭取

鈴木 博 之 丸一鋼管(株) 社長

松 本 正義 住友電気工業(株) 社長

平 松 一 夫 関西学院大学 商学部 教授

吉 川 良 三 東京大学大学院

経済学研究科ものづくり経営研究センター 特任研究員

清 水 春 生 (株)エクセディ 社長

(7) これからの人材戦略と雇用のあり方

グローバル競争の激化、人口減少・少子高齢化、働き方の多様化など企業をとりまく環境が大きく変化する中で、わが国の経済活力と企業競争力を維持するための人材戦略と雇用のあり方はいかにあるべきか。企業の人材育成・マネジメント戦略、大学や行政との連携、さらには非正規雇用の活用を含めた雇用システムのあり方を議論する。

＜セッション構成＞

- ①企業が求める人材像と育成・マネジメントのあり方
- ②大学・行政との連携による人材育成
- ③企業活力を生む新たな雇用システム

議長：堀 場 厚 (株)堀場製作所 会長兼社長
山 田 隆 哉 ダイハツ工業(株) 顧問

意見発表者：

岡 村 眞 彦 三井物産(株) 常務執行役員関西支社長
藤 森 義 明 日本GE(株) 社長兼CEO
林 揚 哲 経済産業省経済産業政策局産業人材政策室
人材開発担当企画官
長 田 豊 臣 学校法人立命館 理事長
大 内 伸 哉 神戸大学大学院 法学研究科 教授
渥 美 由 喜 (株)東レ経営研究所
ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長

◇交 流 会 [18:10～19:00]

2月5日(金)

◇分科会討議 [9:00～12:30、前日より継続]

◇昼 食 [12:30～13:45]

◇全体会議 [13:50～15:40]

(1)特別講演

ジョン・V・ルース 駐日米国大使

(2)セミナー宣言採択

山 中 諄 (社)関西経済同友会 代表幹事

(3)顧問団代表所感

野 村 明 雄 大阪商工会議所 会頭

(4)閉会挨拶

下 妻 博 (社)関西経済連合会 会長

◇懇親パーティ [15:50～17:00]

以 上